

該当する人は
申請を

私たちの介護保険制度

① 65歳からは介護保険料の納付を

当市では、65歳になる月に介護保険被保険者証を、翌月には介護保険料納入通知書を送付します（誕生日が4月2日～7月1日の人には、7月に納入通知書を送付します）。

介護保険料は、半年から1年程度は納付書で納め（普通徴収）、その後は年金からの天引き（特別徴収）になります。ただし、年金額が年額18万円未満の人は、納付書で納めます（口座振替も利用できます〈第1期～第8期以外の納期の分を除く〉）。

② 介護保険料の決定通知書を送付

本年度分の介護保険料の決定通知書を7月14日（火）に送付します。特別徴収の人には「介護保険料特別徴収額決定通知書」（はがき）が、普通徴収（納付書で納入、または口座振替）の人には「介護保険料納入通知書」が届きますので、内容を確認し、不明な点はお問い合わせください。なお、普通徴収の納付は、コンビニエンスストアではできませんのでご注意ください。

③ 低所得者の保険料を減免

希望する人は申請が必要ですので、毎年忘れずにお問い合わせください。

▼申請に必要なもの 印鑑（スタンプ印不可）／申請者と同一世帯全員の収入のわかるもの、預貯金通帳／前年と本年の年金（老齢、退職、遺族、障害など）や恩給の振込通知書／家賃の支払いのある人は、前年中の金額が分かる契約書・領収書など

④ 失業などでも保険料を減免

介護保険制度では、震災（東日本大震災により被災し当市に転入した避難指示等対象被保険者を含む）・風水害・火災などの災害以外にも、65歳以上の介護保険被保険者がいる世帯で、主に生計を維持していた人が今年1月以降に会社の都合により失業したときや、事業や業務の休廃業により収入が著しく減少したときなどは、介護保険料の減免を受けられる場合があります。

▼申請に必要なもの 失業などを証明できる書類

■問い合わせ先 介護福祉課（①～④…☎ 40-7049、⑤…☎ 40-7071、40-7072、⑥…☎ 40-7114）

（雇用保険受給資格者証など）

※減免は申請日以降に納期限の日（特別徴収の人は、普通徴収の納期に換算）が到来する保険料が対象となりますので、早めに手続きを。

～③・④共通事項～

▼受付開始 7月15日（水）から（土・日曜日、祝日を除く）

▼申請方法 介護福祉課（市役所1階）へ申請書等を直接提出か、郵送による申請
※新型コロナウイルス感染症の影響に係る減免について7ページをご確認ください。

⑤ 介護保険負担割合証の更新

負担割合証が8月1日から更新されます。新しい負担割合証は、要支援・要介護認定を受けていいる人と総合事業の事業対象者に対して、7月下旬に発送する予定ですので、届き次第、記載内容を確認してください。

介護保険・総合事業のサービスを利用する際には、被保険者証と一緒に負担割合証をサービス事業所に提示する必要があります。

なお、現在お使いの負担割合証は、8月1日以降に介護福祉課または岩木・相馬総合支所民生課窓口まで返還するか、裁断のうえ、破棄してください。

⑥ 在宅ねたきり高齢者の寝具丸洗いサービス

自宅で生活をしているおおむね65歳以上のねたきりの人を対象に、寝具の丸洗いを無料で実施します。



▼内容 掛布団、敷布団、毛布または丹前のいづれか合計3枚までを専門業者が回収し、丸洗い・乾燥・殺菌消毒をした後、自宅へ返却します（約1週間）。

▼実施期間 9月上旬～10月末

※回収日・返却日については、申し込み受け付け後、利用決定通知で個別にお知らせします。

▼申込先 8月3日（月）までに、各地域の民生委員または介護福祉課か岩木・相馬総合支所民生課窓口へ。

高齢者の安心・
安全のために

ただいまサポート事業

るようになります。公共交通機関、宅配業者、介護事業所など多くの事業所に登録いただいているが、個人情報は厳重に保護しています。

【事前登録】

▼対象者 満65歳以上で認知症やその疑いがあり、行方不明になるおそれのある弘前市民（若年性認知症の場合は65歳未満でも対象）

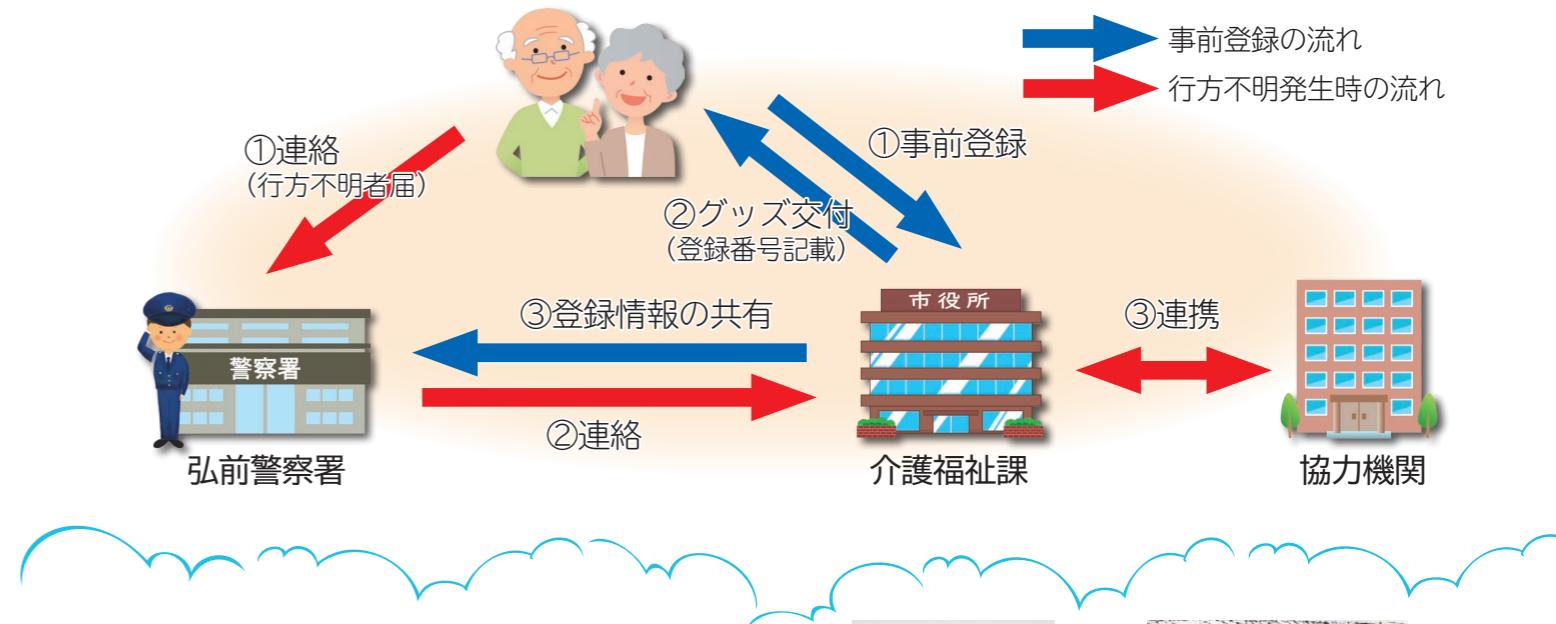
▼申請できる人 本人、家族、成年後見人（保佐人・補助人含む）

▼申請手続き 申請者の印鑑、本人の写真（上半身と全身の2枚）を持参の上、介護福祉課または市内の地域包括支援センターへお越しください。

【認知症の人を見守るためのお願い】

長い時間同じ場所にいるなど、気がかりな高齢者を見かけたら、笑顔で「どうしました？」などのちょっとした一声と警察（110番または弘前警察署（☎ 32-0111）への連絡をお願いします。

■問い合わせ先・申請先 介護福祉課自立・包括支援係（☎ 40-4321）



弘前っ子の作品 Vol. 3

令和元年度弘前地区小・中学校美術展で受賞した作品を8回に分けて紹介します。子どもたちの夢、楽しい思い出、豊かな心をご覧ください。

■問い合わせ先
教育センター（☎ 26-4803）

猿賀公園でこいのえさをやつたら、勢いよく寄ってきてびっくりしました。池にはバスの花も咲いていました。



たなか ふうと
田中 楓十さん
(時敏小学校)



タイトル こいのえさやり